

登録コード	SG006900	開講年度	2026				
授業題目	数学科指導法Ⅲ				担当教員	志津 千代子	
英文授業名	Teaching Methods of MathematicsⅢ				副担当	小山 茂喜	
単位数	2	講義期間	前期	曜日・時限	月曜・2時限	対象学年	3年
講義室	理学部第5講義室		授業形態	講義	遠隔授業科目	備考	
信大コンピテンシー	非該当						
(1)授業の達成目標	授業で得られる「学位授与の方針」要素				⇔	【授業の達成目標】	
(2)授業で学べる「テーマ」	キャリア						
(3)全学横断特別教育プログラム							
(4)授業の概要	学習内容の系統を生かした問題解決的な授業の構成方法に関わる基本事項を理解し、具体的な指導内容を想定した授業設計に関して考察する。 ※本授業は中学校免許取得者を対象とするが、中学・高校の接続を考慮し、参考に高校の内容も扱う。						
(5)授業のキーワード	教材研究、授業設計、模擬授業、ICT活用、評価						
(6)授業計画	授業計画 第1回：数学教育における数学的活動の意義 第2回：数学的活動を取り入れた教材研究 中学校「数と式」の領域 第3回：数学的活動を取り入れた教材研究 中学校「図形」の領域 第4回：数学的活動を取り入れた教材研究 中学校「関数」の領域 第5回：数学的活動を取り入れた教材研究 中学校「データの活用」 第6回：中学校数学での指導案作成 第7回：中学校数学での模擬授業(1) 第8回：中学校数学での模擬授業(2) 第9回：数学的活動を取り入れた教材の作成 高等学校 数学Ⅰ・数学A 第10回：数学的活動を取り入れた教材の作成 高等学校 数学Ⅱ・数学B 第11回：数学的活動を取り入れた教材の作成 高等学校 数学Ⅲ・数学C 第12回：数学的活動を取り入れた教材の作成 中学校「データの活用」の領域について 第13回：高等学校数学での指導案作成 第14回：高等学校数学での模擬授業(1) 第15回：高等学校数学での模擬授業(2) 及び 「授業のふりかえり」の入力						
(7)成績評価の方法	授業での取り組みと、レポートを総合的に判断して評価する。						
(8)成績評価の基準	(i) 講義内容の理解 (ii) 当日に課された課題レポートの内容 (iii) 教材研究の成果 (iv) 実践演習への取り組みやその内容 (v) 発表(プレゼンテーション)の仕方 (vi) 積極性等の授業での取り組み状況 のいずれにおいても達成目標で想定したレベル以上であれば「卓越している」、5項目までできていれば「かなり上にある」、4項目までできていれば「やや上にある」、3項目までできていれば「合格水準にある」。						
(9)事前事後学習の内容	毎回の授業の最後に、当日の授業内容の理解を問う課題や次回の授業内容につながる課題を出す。次回の授業の冒頭で課題用紙を回収し、内容等を含め取り組み状況をチェックする。併せて、取り組み内容について、幾名かの受講生に説明をしてもらうので、記載内容についてきちんと説明できるようにしておくことが求められる。また、「実践演習」の授業を受講する際には、事前に該当学年の指導内容についてしっかりと理解を深めておくことが望ましい。						
(10)履修上の注意	中学校の数学の免許状を取得する学生は必修						
(11)質問、相談への対応	授業以外の時間帯で教職相談室に常駐しているので、教職相談室にて質問・相談を受け付ける。授業終了後時間的に余裕があれば、そのまま講義室でも質問や相談への対応は可能。						
【教科書】	「中学校学習指導要領(平成29年告示)」「高等学校学習指導要領(平成30年告示)」「中学校学習指導要領(平成29年告示)解説 数学編」「高等学校学習指導要領(平成30年告示)解説 数学編 数理編」(文部科学省)						
【参考書】	『「指導と評価の一体化」のための学習評価に関する参考資料 中学校 数学』国立教育政策研究所(令和2年), 『「指導と評価の一体化」のための学習評価に関する参考資料 高等学校 数学』国立教育政策研究所(令和3年), 「新しい教科書の使い方～よりよい授業づくりのために～中学校編」(公財)教科書研究センター(令和5年), 「すぐに使える学習者用デジタル教科書活用事例集(中学校編)」(公財)教科書研究センター(令和6年), 「算数・数学の教科書の世界的潮流に関する調査研究報告書」(公財)教科書研究センター(令和4年)						